

## 第1回安房地区地域協議会 記録

- 1 日 時 令和5年1月6日(金) 午後2時から4時まで
- 2 場 所 館山市中央地区学習等供用施設(菜の花ホール) 第1・第2集会室
- 3 出席者 16名/16名
- 4 概 要

### (1) 座長の選出

座長に廣部委員を選出

### (2) 地域協議会設置の趣旨

地域協議会設置の趣旨について事務局より説明

### (3) 「県立高校改革推進プラン」及び「第1次実施プログラム」について

資料3「県立高校改革推進プラン及び第1次実施プログラムについて」に基づき、同プラン及び同プログラムの内容について事務局より説明

#### 【座長】

事務局からの「プラン」及び「プログラム」の説明について、質問や意見をお願いしたい。

#### 【委員】

適正規模について、1学級の人数は何人を想定しているのか。

#### 《事務局》

40名である。

### (4) 安房地区の現状と課題

資料4「安房地区地域協議会 基礎資料」に基づき、安房地区の現状と課題について事務局より説明

#### 【委員】

学区外の市町村から通学する生徒に対して、何か通学の支援を行っているか。また、県内で通学の支援を行っている例はあるか。

#### 《事務局》

通学の支援は特に行っていない。

#### 【委員】

長狭高校の医療福祉コース、安房高校の教員基礎コース。進路としてその系統の大学に進んだとか、卒業後に実際に教員になった割合はどうか。

#### 《事務局》

追跡調査を行っているので、次回までに資料を用意する。

#### 【委員】

11ページの自治体別進路先の数字は、中学校から報告が上がってきたものか。館山市から第9学区へ進学した人数が0であるが、木更津高校に進学する生徒が例年いると聞いている。

#### 《事務局》

各中学校から報告のあった数字をもとに資料を作成している。ただし、現段階では速報値を資料として用いているため、確定値となった段階で数字が変わる可能性がある。次回までに確認する。

#### 【委員】

14ページについて、基本的に郡部から都市部へ中学生が流れる傾向にある中で、第4学区から第5学区へ流れていることについて、その背景があれば今後の参考にしたい。

#### 《事務局》

こちらについても各中学校から報告のあった数字をもとに資料を作成しているため、中身について次回までに確認する。

(5) 質疑

【座長】

ここまで、事務局からの説明を中心に進めてきたが、ここからは全体を通じて質問があれば伺うがいかがか。

【委員】

いろいろな高校で新たな学科やコースを設置している中で、安房高校の英語科は廃止されている。英語を中心に勉強したい生徒にとっては、学区内にそのような学校がないため学区外の学校に進学せざるを得ない。国際化が進む中でなぜこのタイミングで廃止されたのか理由を教えてください。

《事務局》

安房高校の英語科は、志願者が募集定員を満たない状況が続いていたことに加え、安房地区の中学校卒業生数の減少も見込まれていたことから、学科として維持が困難であると考え、英語科を平成25年度から募集を停止した。志願者の減少は入学後に希望者を募って実施するコースと違い、学科については出願時点で選ばなければならないことが原因であると推測される。なお、英語科の学びは、普通科において国際社会に貢献する人材の育成に努める学びを導入することで引き継いでいる。

【委員】

安房地区に今後英語に関するコースが設置される可能性はあるか。

《事務局》

中学生のニーズを踏まえて検討していくことになる。

【委員】

安房高校では現在、英語教育拠点校に指定されている県下約10校のうちの1校であるとともに、グローバル教育推進校にも指定されており、国内外の大学と連携した取組を行っている。

【委員】

かつては私立高校よりも公立高校へ進学する割合が高かったように記憶しているが、現在は就学支援金制度により私立高校進学者にも経済的援助があり、さらにはバスの送り迎えがあるため私立高校を選ぶ割合が増えている。なぜ私立が選ばれるのかについてはもっと探っていけないといけない。安房高校の英語科の話があったが、英語に力を入れて学びたい中学生が君津管内の私立高校を選んで進学している現状もある。経済的負担があまり変わらなくなってきているので私立を選びやすくなっているという現状に対して、県立高校も何らかの手を打たないといけないと感じる。

【委員】

県内にどんな学科やコースがあるか、それらを設置した効果はどうだったのか、などがわかるような資料、例えば卒業後の進路実績などがあると、それによりニーズがあるのか、あるいはないのかわかる。

《事務局》

プラン冊子38ページにある県内の学科・コース設置校の一覧をご覧いただきたい。県内の配置状況については、41ページから50ページに学科ごとに記載している。評価については、設置後3年目に、最初の卒業生が出る段階で評価を行っており、県教育委員会のウェブサイトには報告資料としてあげている。報告資料は毎年度作成しており、毎年4～50ページにわたるものなので、参考資料として用意できなかった。委員の皆様にもどのような形で示しできるか、持ち帰って検討させてほしい。卒業後に進学した大学・専門学校の分野や就職状況については把握しているが、大学等を卒業した後の進路まで追跡調査を行っているのは教員基礎コースと医療系コースのみである。

【座長】

他になければ予定時刻のため、次に進む。その他、議事はないか。

(意見なし)

ないので、進行を事務局にお返す。